

学会誌 vol.37-3 「農業リモートセンシング（仮題）」特集/小特集号への原稿募集

日本リモートセンシング学会誌 37-3 号(2017 年 7 月刊行)では、「農業リモートセンシング（仮題）」特集/小特集号を企画しています。近年、農業の ICT 化による生産の効率化・高付加価値化等への期待や急速に普及する小型 UAV への関心の高まりから、農業分野におけるリモートセンシング技術の活用に注目が集まっています。また、食料生産の拡大にともなう環境の劣化など、農業に関わるグローバルな問題を監視・解明する手段としても、同技術は無くてはならない存在になっています。今回の企画は、そんな古くて新しい研究対象である「農業」にスポットを当て、農業を対象としたリモートセンシング手法及びその応用に関して、最新の研究成果や問題点等の紹介を幅広く特集することを目的としています。下記の通り論文、事例紹介等の原稿を募集します。農業特集としては、前回(23-5 号)から約 14 年ぶりの企画です。滅多にない機会ですので、奮ってご投稿ください。

記

- ・ 特集号名 農業リモートセンシング特集号（仮題）
- ・ 掲載予定号 37-3 号(2017 年 7 月刊行)
- ・ 論文募集形態 論文、小論文、総説（レビュー）、技術報告、事例紹介
- ・ 論文のテーマ 農業を対象とした研究や利用事例に関して、幅広く募集します。
- ・ 論文査読 論文、小論文、総説（レビュー）、技術報告に関しては、通常通りの審査を行います。*速報、事例紹介は査読がありません。
- ・ 投稿期限 論文など査読の必要な原稿：2016/12/20（火）
速報など査読の不要な原稿：2017/6/6（火）
- ・ 投稿規定・投稿先 詳細は、以下のページをご参照ください。
<http://www.rssj.or.jp/journal/gakkaishi/>
*投稿論文の筆頭著者は原則として本学会会員とし、筆頭著者が会員以外の場合には、ページチャージを負担していただきます。また、投稿論文の言語は日本語または英語を使用してください。
- ・ 留意事項 査読審査の進行状況によっては、受理された論文が 37-3 号以降に掲載される場合があります。

- ・ 本特集号に関する問い合わせ先（37-3 号担当編集委員）

坂本利弘（農業・食品産業技術総合研究機構） email: [sakamt あつとマーク affrc.go.jp](mailto:sakamt@affrc.go.jp)

以上

日本リモートセンシング学会編集委員会
委員長 松永恒雄（国立環境研究所）

37-3 号担当編集委員 坂本利弘（農研機構）